

本当にエンド治療で天然歯を維持出来るのか？

宮下 裕志 医療法人社団 EPSDC 宮下歯科 院長

出身大学院：イエテボリ大学歯学部 診断学 歯内療法学 歯周病学

講演抄録

しかしながら、冠は歯とのマージンは適切に適合しないのである

このような経過の中で、歯内療法の必要性が起こる

しかしながら、根管形成は不適切で、根管充填は不完全である

驚くことはないだろうが、根尖病変は治らない

その結果、根尖切除と逆根管充填が行われることとなる

驚くことに歯科医は本当に患者を助けていると思っている

しかしながら、歯は落ち着かず、症状は続く

その結果、その歯は抜歯されてしまう！！

以上は **Dental Caries (2003)**に引用されている **Elderton** による一節である。

本当に我々はエンド治療を行うことで天然歯を維持できているのだろうか。

世界および日本発の研究とともに、合わせて当院のリサーチ結果を基に

天然歯を守るために必要な知識と技術をご紹介したい。